

実務経験のある教員等による授業科目の一覧表

職業実践専門課程 環境デザイン学科 フラワーデザイン専攻

授業科目名	区分		配当年次 学期	単位数 (授業時数)
	必修	選択		
フラワーデザイン基礎演習	○		1年・前期	3 (45)
フラワーデザイン演習Ⅰ	○		1年・後期	2 (30)
フラワーデザイン演習Ⅱ	○		2年・前期	3 (45)
コーディネーション基礎	○		1年・前期	3 (45)
コーディネーションⅠ	○		1年・後期	2 (30)
コーディネーションⅡ	○		2年・前期	3 (45)
グリーンコーディネーション	○		1年・前期	3 (45)
フローラルアートⅠ	○		1年・後期	2 (30)
フローラルアートⅡ	○		2年・前期	3 (45)
ディスプレイ演習Ⅰ	○		1年・前期	3 (45)
ディスプレイ演習Ⅱ	○		1年・後期	2 (30)
スペースデザイン演習	○		2年・前期	3 (45)
いけばな基礎演習	○		1年・前期	3 (45)
いけばな演習	○		2年・前期	3 (45)
クリエイティブワークⅠ	○		1年・後期	2 (30)
クリエイティブワークⅡ	○		2年・前期	3 (45)
植物学	○		1年・前期	3 (45)
ブライダルフラワー	○		2年・前期	3 (45)
フラワービジネス	○		2年・前期	3 (45)
キャリアプランニング	○		1年・前期	1 (15)
販売実務	○		1年・後期	2 (30)
DTP基礎演習	○		1年・前期	3 (45)
DTP演習	○		1年・後期	2 (30)
プレゼンテーションⅠ	○		2年・前期	3 (45)
プレゼンテーションⅡ	○		2年・後期	3 (45)
デザイン基礎Ⅱ	○		1年・後期	2 (30)
英語	○		1年・前期	1 (15)
合 計				69 (1035)

対象学科：環境デザイン学科
対象専攻：フラワーデザイン専攻
担当教員：谷内恵（非常勤講師）
実務経験：生花店勤務、店内業務全般を担当
1級フラワーデザイナーNFD本部講師。1級フラワー装飾技能士。

科目名： **フラワーデザイン基礎演習**

履修形態：必修
授業形態：演習
履修学年：1年次
開講学期：前期
授業時数：45時間
単 位：3単位

- 科目概要：(公社)日本フラワーデザイナー協会 [NFD] のデザイン理論に基づいて、フラワーの技術と知識の基礎を学び、季節の花やグリーンをデザインする
- 到達目標：植物をよく観察し、形態や植生を考えたデザインが出来るテクニックと知識を身につける

■授業計画：

- 第1回 フラワーデザインの基礎知識:フラワーデザインの構成理論 花の主張度、特徴、役割、水揚げ等 用具と資材 ワイヤリングやリボンワークなどの基礎テクニック
- 第2回 スワンアレンジメント:生花で白鳥を作る テーブルデコレーションやギフトに
- 第3回 ドームアレンジメント:半円球形に構成する360° 展開のアレンジメント
- 第4回 並行—装飾的:垂直な並行配置によって装飾感を表現する構成
- 第5回 リースアレンジメント:リース状に構成するテーブルデコレーション
- 第6回 トライアングュラーアレンジメント:二等辺三角形に構成されたアレンジメント
- 第7回 丸い花束:スパイラルに組み丸く束ねる花束
- 第8回 モダン—装飾的ブーケ:ブーケホルダーを用いて円錐形に構成する花嫁の花束
- 第9回 セタのデザイン:天の川をイメージしたアレンジメント。五節句を学ぶ
- 第10回 スプレイシェイプアレンジメント:花束を横に置いたようなアレンジメント
- 第11回 共同形態:わずかな主張の植物を群生させることで表現する構成
- 第12回 器を作る:グラスチューブをデコパージュし、一輪挿しを作る
- 第13回 コサージュ・ブートニア:装飾として身に着ける小さな花束。ワイヤリングとテーピングの復習
- 第14回 エルシェイブ:アルファベットのL字型に構成するアレンジメント
- 第15回 カフスブーケ:花のふち周りを囲い装飾をしたブーケ

■教科書： フラワーデザイナー資格検定試験テキスト

■参考書：

■成績評価： 出席状況、取り組み姿勢、提出課題作品の達成度、等を総合的に評価する。

■関連科目：

■履修上の留意点：

対象学科： 環境デザイン学科
対象専攻： フラワーデザイン専攻
担当教員： 谷内恵 (非常勤講師)
実務経験： 生花店勤務、店内業務全般を担当
1級フラワーデザイナーNFD本部講師。1級フラワー装飾技能士。

科目名： **フラワーデザイン演習Ⅰ**

履修形態： 必修
授業形態： 演習
履修学年： 1年次
開講学期： 後期
授業時数： 30時間
単 位： 2単位

■科目概要： (公社)日本フラワーデザイナー協会 [NFD] のデザイン理論に基づいて、フラワーの技術と知識の基礎を学び、季節の花やイベントに合わせてデザインする

■到達目標： 花に関連する行事を理解し、植物をよく観察して形態や植生を考えたデザインが出来る技術と知識を身につける。

■授業計画：

- 第1回 秋の花束: 枝物を入れたシュトラウス(花束)
- 第2回 バードケージアレンジメント: 鳥かご風デザイン
- 第3回 植生的: 植物の自然の植生をイメージして、生えているかのように理想化する構成
- 第4回 ハロウィンアレンジメント: ファーガスなどを使用したハロウィンのデザイン
- 第5回 ラウンドブーケ: ブーケホルダーを用いて円形に構成する花嫁の花束
- 第6回 並行-植生的: 垂直な並行配置によって植生感を表現する構成
- 第7回 構造的: 植物の材質感の違いによって表面構造を表現
- 第8回 トピアリーアレンジメント: 生花を使ったフラワートピアリー
- 第9回 花束: ラインの葉物と合わせたスパイラルに組む花束
- 第10回 クリスマスアレンジメント: 枝物と合わせたクリスマスカラーのアレンジメント
- 第11回 クリスマスデザイン①: プラスティックダンボールをデコパージュし、アレンジベースを制作
- 第12回 クリスマスデザイン②: 前回制作したベースに、アーティフィシャルフラワーをアレンジ
- 第13回 正月飾り: アーティフィシャルフラワーで制作する正月飾り
- 第14回 正月アレンジメント: 植物の「線と形」の対比を考えた正月アレンジメント
- 第15回 大型デザインの制作補助: 卒業制作活け込みのアシスタント作業、見学

■教科書： フラワーデザイナー資格検定試験テキスト

■参考書：

■成績評価： 出席状況、取り組み姿勢、提出課題作品の達成度、等を総合的に評価する。

■関連科目：

■履修上の留意点

対象学科： 環境デザイン学科
対象専攻： フラワーデザイン専攻
担当教員： 谷内 恵 (非常勤講師)
実務経験： 生花店勤務、店内業務全般を担当
1級フラワーデザイナーNFD本部講師。1級フラワー装飾技能士。

科目名： **フラワーデザイン演習Ⅱ**

履修形態： 必修
授業形態： 演習
履修学年： 2年次
開講学期： 前期
授業時数： 45時間
単 位： 3単位

■科目概要： (公社)日本フラワーデザイナー協会 [NFD] のデザイン理論に基づいて、基礎の上に十分な技術と知識を学び、季節の花やグリーンなどをデザインする

■到達目標： 植物形態を理解し、植生やテクスチュアを考えたデザインが出来るテクニックと知識を身につける。NFD検定試験3級合格。

■授業計画：

- 第1回 並行-植生的: 垂直な並行配置によって植生(自然感)を表現する構成
- 第2回 丸い花束: スパイラルに組み丸く束ねる花束
- 第3回 モダン-装飾的ブーケ: ブーケホルダーを用いて円錐形に構成する花嫁の花束
- 第4回 ホリゾンタルアレンジメント: 水平形に構成する360度展開のアレンジメント
- 第5回 構造的(テクスチュア): 植物の材質感の違いによって表面構造を表現する構成
- 第6回 メリアブーケ: ワイヤテクニックで作るローズメリアブーケ
- 第7回 水平の花束: 水平に構成した土台を用いて、水平に束ねる花束
- 第8回 絵のような: 植物素材によって絵を描くように表現する構成
- 第9回 ほぐれた装飾的花束: ゆるやかにほぐれた装飾的な花束
- 第10回 交差: 植物素材の交差によって空間を表現する構成
- 第11回 トライアングュラーアレンジメント: 二等辺三角形に構成されたアレンジメント
- 第12回 キャスケードブーケ: ブーケホルダーを用いて小さな滝のような懸垂形にまとめたブーケ
- 第13回 共同形態: わずかな主張の植物を群生させることで表現する構成
- 第14回 ボールブーケ: 球体に構成する花嫁の花束(重陽の節句)
- 第15回 並行-装飾的: 垂直な並行配置によって装飾感を表現する構成

■教科書： フラワーデザイナー資格検定試験テキスト

■参考書：

■成績評価： 出席状況、取り組み姿勢、提出課題作品の達成度、等を総合的に評価する。

■関連科目：

■履修上の留意点：

対象学科： 環境デザイン学科
対象専攻： フラワーデザイン専攻
担当教員： 清水さくら (非常勤講師)
実務経験： 生花店代表取締役。フローリスト。ハナトリウム主宰。北海道デザイン協議会
会員。ジャパンカップ1位受賞、アジアカップ日本代表など

科目名	コーディネーション基礎
-----	-------------

履修形態： 必修
授業形態： 演習
履修学年： 1年次
開講学期： 前期
授業時数： 45時間
単 位： 3単位

■科目概要： 植物の特性をよく観察し、アートとして花材の基礎を学びデザインする

■到達目標： 植物の持つ特性を深く観察し、理解を深めた上でデザインとテクニックの基礎を身につける。

■授業計画：

- 第1回 春のデザイン:春の花で作るブーケ
- 第2回 植物とフルーツ野菜:フルーツや野菜を使ってアレンジする
- 第3回 母の日ギフト:BOXアレンジ
- 第4回 複数の器:3~5個の器にデザインする
- 第5回 スワッグ 壁の花:ドライになる花でデザインする
- 第6回 身につけるコサージュ:コサージュ、ブレスかアレンジする
- 第7回 父の日ギフト:プレゼントと植物
- 第8回 ブライダルデザイン:デッサンとプラン
- 第9回 ウェディングディスプレイ:飾花メインテーブル
- 第10回 ブライダルブーケ:ナチュラルブーケ
- 第11回 夏のデザイン:トロピカルアレンジ
- 第12回 フューネラルデザイン:1対の花(葬儀花)
- 第13回 美術館見学:美術館見学
- 第14回 植物1種類:コンテスト形式で半数ずつ制作する。
- 第15回 秋のコラージュ:実と葉のデザイン

■教科書： 自作資料

■参考書：

■成績評価： 出席状況、取り組み姿勢、提出課題作品の達成度、等を総合的に評価する。

■関連科目：

■履修上の留意点：

対象学科： 環境デザイン学科
対象専攻： フラワーデザイン専攻
担当教員： 清水さくら (非常勤講師)
実務経験： 生花店代表取締役。フローリスト。ハナトリウム主宰。北海道デザイン協議会
会員。ジャパンカップ1位受賞、アジアカップ日本代表など

科目名	コーディネーションⅠ
-----	------------

履修形態： 必修
授業形態： 演習
履修学年： 1年次
開講学期： 後期
授業時数： 30時間
単 位： 2単位

■科目概要： 自然素材から着想を得てオンリーワンの表現を目指す。
アレンジメントの基礎復習から応用技術を学ぶ

■到達目標： 自然素材の特徴を理解し、それをデザインに生かす発想ができるようになる。

■授業計画：

- 第1回 ステージの花:ディスプレイ
- 第2回 グリーンディスプレイ:色々なグリーンでアレンジする
- 第3回 秋のブーケ:秋色の実や花でアレンジ①
- 第4回 秋のブーケ:秋色の実や花でアレンジ②
- 第5回 空間ディスプレイ:校内をデザイン①
- 第6回 空間ディスプレイ:校内をデザイン②
- 第7回 DVD 花屋:フランスのフローリスト
- 第8回 フラワーコンテスト:ディスプレイと花束①
- 第9回 フラワーコンテスト:ディスプレイと花束②
- 第10回 クリスマスリース:リース制作①
- 第11回 クリスマスリース:リース制作②
- 第12回 卒制アシスト①
- 第13回 卒制アシスト②
- 第14回 正月飾り:お正月飾り① しめ飾り
- 第15回 正月飾り:お正月飾り②

■教科書： 自作資料

■参考書：

■成績評価： 出席状況、取り組み姿勢、提出課題作品の達成度、等を総合的に評価する。

■関連科目：

■履修上の留意点

対象学科： 環境デザイン学科
対象専攻： フラワーデザイン専攻
担当教員： 清水 さくら (非常勤講師)
実務経験： 生花店代表取締役。フローリスト。ハナトリウム主宰。北海道デザイン協議会
会員。ジャパンカップ1位受賞、アジアカップ日本代表など

科目名： **コーディネーションⅡ**

履修形態： 必修
授業形態： 演習
履修学年： 2年次
開講学期： 前期
授業時数： 45時間
単 位： 3単位

- 科目概要： 様々な自然素材から着想を得て、フラワーアレンジに生かす。コンテストやフラワーディスプレイに挑戦する
- 到達目標： 自然素材から発想するデザイン力を培い、コンテストに挑戦する姿勢を養う

■授業計画：

- 第1回 春のデザイン：春らしく桜の枝でアレンジする
- 第2回 植物と野菜：花と野菜の提案
- 第3回 母の日ギフト：BOXギフト 好きな色を選ぶ
- 第4回 スワッグ(壁の花)：ドライになる花材で花束を作る
- 第5回 父の日ギフト：プレゼントと花束
- 第6回 ブライダル：グループデザイン 空間ディスプレイ
- 第7回 ブライダルブーケ：ナチュラルブーケ
- 第8回 キャンドルアレンジ：テーブル飾り
- 第9回 リースブーケ：リング状にデザインしたブーケ
- 第10回 フラワーコンテスト：びっくり箱で花材をテーマに合わせてデザインする
- 第11回 美術館見学
- 第12回 植物一種類：1種の花でデザインする
- 第13回 器を植物で作る：造形デザイン
- 第14回 秋のディスプレイ：校内アレンジをする
- 第15回 卒制デザイン：卒制のデザインを考える

■教科書： 自作資料

■参考書：

■成績評価： 出席状況、取り組み姿勢、提出課題作品の達成度、等を総合的に評価する。

■関連科目：

■履修上の留意点：

対象学科： 環境デザイン学科
対象専攻： フラワーデザイン専攻
担当教員： 江尻 陽子 (非常勤講師)
実務経験： 生花店勤務、店内業務全般を担当

科目名： **グリーンコーディネート**

履修形態： 必修
授業形態： 演習
履修学年： 1年次
開講学期： 前期
授業時数： 45時間
単 位： 3単位

■科目概要： お花の処理など実践スキルを身につける。テーマに合ったデザインの引き出しを増やす。

■到達目標： 様々な素材をお花と融合させ、フラワーデザインの可能性を広げる。

■授業計画：

- 第1回 オリエンテーション ワイヤリング①:年間の授業説明 生花の処理の基礎を学ぶ
- 第2回 ワイヤリング②:前回の続き。 反復練習で身につける。
- 第3回 Tsubomi商品制作:6月(予定)の販売会に向けて商品の制作。
- 第4回 フラワーガーランド①:個々にテーマを決め、アートフラワーや様々な素材を使用し、作品を制作する。
- 第5回 フラワーガーランド②:前回の続き。作品の完成。
- 第6回 プランツブック①:オリジナルの植物図鑑を制作する。
- 第7回 プランツブック②:前回の続き。
- 第8回 プランツブック③:前回の続き。完成。
- 第9回 ブライダル計画①:架空の結婚式の装花の提案をする。
- 第10回 ブライダル計画②:前回の続き。
- 第11回 ブライダル計画③:前回の続き。それぞれプレゼンを行う。
- 第12回 花冠制作:花壇のお花を使って花冠を制作。
- 第13回 プランツハンガー①:麻紐を編み込み、作品を制作する。
- 第14回 プランツハンガー②:前回の続き。木材を使用し、枠を制作する。
- 第15回 プランツハンガー③:前回の続き。第一回に制作した編み込み作品を枠に設置し、完成

■教科書： アートフラワー、制作に必要な素材

■参考書：

■成績評価： 出席状況、取り組み姿勢、提出課題作品の達成度、等を総合的に評価する。

■関連科目：

■履修上の留意点：

対象学科： 環境デザイン学科
対象専攻： フラワーデザイン専攻
担当教員： 江尻 陽子 (非常勤講師)
実務経験： 生花店勤務、店内業務全般を担当

科目名： **フローラルアートⅠ**

履修形態： 必修
授業形態： 演習
履修学年： 1年次
開講学期： 後期
授業時数： 30時間
単 位： 2単位

■科目概要： 様々な素材を使用し、フラワーアレンジとフラワーデザインの引き出しを増やす。

■到達目標： 身近なものからも着想を得てデザインの可能性を広げ、フラワーアレンジに生かせるようになる。

■授業計画：

- 第1回 壁掛けアートフラワー：フォトフレームを木材で作成し、壁掛けアートフラワー作品を制作する。
- 第2回 イメージフォト制作①：テーマに沿った写真を数枚撮影する。
- 第3回 イメージフォト制作②：前回の続き。それぞれプレゼンを行う。
- 第4回 落葉リース：近くの公園に落ち葉を拾いに行き、それを使ってリースを制作する。
- 第5回 ローズウィンドウ①：切り絵のようなステンドグラスをお花紙で表現する。
- 第6回 ローズウィンドウ②：前回の続き。作品の完成。
- 第7回 ブーケアシスト①：それぞれテーマを決め、オリジナルデザインのブーケアシストを制作する。
- 第8回 ブーケアシスト②：前回の続き。デザインをもとに作品制作。実際に生花を使用し、花束を作る。
- 第9回 クリスマスディスプレイ①：バークチップを使用し、クリスマスツリーを制作する。
- 第10回 クリスマスディスプレイ②：前回の続き。作品の完成。
- 第11回 お正月アレンジメント：生花を使用し、お正月のアレンジメントを制作する。
- 第12回 お正月アレンジメント②：生花を使用し、お正月のアレンジメントを制作する。
- 第13回 押し花フォトフレーム制作①：押し花にした花びらを使い、作品制作。デザインをおこす。
- 第14回 押し花フォトフレーム制作②：前回の続き
- 第15回 押し花フォトフレーム制作③：前回の続き。完成

■教科書： アートフラワー、制作に必要な素材

■参考書：

■成績評価： 出席状況、取り組み姿勢、提出課題作品の達成度、等を総合的に評価する。

■関連科目：

■履修上の留意点

対象学科： 環境デザイン学科
対象専攻： フラワーデザイン専攻
担当教員： 江尻 陽子 (非常勤講師)
実務経験： 生花店勤務、店内業務全般を担当

科目名： **フローラルアートⅡ**

履修形態： 必修
授業形態： 演習
履修学年： 2年次
開講学期： 前期
授業時数： 45時間
単 位： 3単位

■科目概要： 様々な素材を使用し、ディスプレイの方法やデザインの可能性を広げる。

■到達目標： デザインの可能性を広げ、テーマに沿った商品提案やディスプレイ提案をできる応用力を養う。

■授業計画：

- 第1回 フラワーシャンデリア①:天井からの吊るし飾りを制作する。
- 第2回 フラワーシャンデリア②:前回の続き。作品の完成。
- 第3回 Tsubomi商品制作:6月(予定)の販売会に向けて商品の制作。
- 第4回 ウェルカムボード①:結婚式を想定したウェルカムボードの制作。
- 第5回 ウェルカムボード②:前回の続き。
- 第6回 ウェルカムボード③:前回の続き。生花を使用し、作品を完成させる。
- 第7回 フラワーショップ計画①:架空のフラワーショップを想定し、プッシュ商品の開発、ディスプレイ提案などをする。
- 第8回 フラワーショップ計画②:前回の続き。
- 第9回 フラワーショップ計画③:前回の続き。それぞれプレゼンを行う。
- 第10回 フラワー装飾技能士検定に向けて:フラワー装飾技能士検定の筆記検定対策。
- 第11回 フラワー装飾技能士検定に向けて:フラワー装飾技能士検定の実技検定対策。
- 第12回 花図鑑①:今まで授業で使用した花材をメインにオリジナルの花図鑑を制作する。
- 第13回 花図鑑②:前回の続き。
- 第14回 花図鑑③:前回の続き。プリントアウト、完成。
- 第15回 寄せ植え:植物の寄せ植え作品の制作。

■教科書： アートフラワー、制作に必要な素材

■参考書：

■成績評価： 出席状況、取り組み姿勢、提出課題作品の達成度、等を総合的に評価する。

■関連科目：

■履修上の留意点：

対象学科： 環境デザイン学科
対象専攻： フラワーデザイン専攻
担当教員： 芳賀香緒里、柳瀬 勇佑 (非常勤講師)
実務経験： フライダル業務、装花業務、店内業務全般を経験。オーナーフローリスト

科目名： **ディスプレイ演習Ⅰ**

履修形態： 必修
授業形態： 演習
履修学年： 1年次
開講学期： 前期
授業時数： 45時間
単 位： 3単位

■科目概要： テキストと実践の両面から、花材の水揚げの基本と、花材別の様々な水揚げ方法を学ぶ。花材の特性を学んだうえで、特性を生かしディスプレイ装飾の基本を学ぶ

■到達目標： ①テキスト「水揚げ&花のケア一切り花の鮮度保持マニュアル 単行本」に掲載している水揚げ方法を一通り経験している。同テキストの「4品目別水揚げ」の知識を習得し、確認テストに合格する。②フラワーディスプレイの考え方の基礎を養う

■授業計画：

- 第1回 オリエンテーション 呼吸と光合成 実践…水揚げ実習、小作品制作1
- 第2回 維管束と水揚げ作業 実践…水揚げ実習、小作品制作2
- 第3回 バクテリア対策 実践…水揚げ実習、小作品制作3
- 第4回 エチレングスとSTS2 実践…水揚げ実習、小作品制作5
- 第5回 生産者が行う「前処理」 実践…水揚げ実習、小作品制作6
- 第6回 流通段階での鮮度保持 実践…水揚げ実習、小作品制作7
- 第7回 ビジネスホテル客室装飾のディスプレイデザイン案作成①
- 第8回 校外学習(ホテル客室見学)
- 第9回 ビジネスホテル客室装飾のディスプレイデザイン案作成②
- 第10回 ビジネスホテル客室装飾のディスプレイデザイン案作成③
- 第11回 デザイン案プレゼン
- 第12回 装飾制作①
- 第13回 装飾制作②
- 第14回 装飾制作③
- 第15回 設営

■教科書： フラワーデザイナーのためのハンドブック増補改訂版
水揚げ&花のケア一切花の鮮度保持マニュアル 単行本
アレンジ花図鑑 花屋さんの花材がすべてわかる

■参考書：

■成績評価： 出席状況、取り組み姿勢、提出課題作品の達成度、等を総合的に評価する。

■関連科目：

■履修上の留意点：

対象学科： 環境デザイン学科
対象専攻： フラワーデザイン専攻
担当教員： 芳賀香緒里、柳瀬 勇佑 (非常勤講師)
実務経験： プライダル業務、装花業務、店内業務全般を経験。オーナーフローリスト

科目名： **ディスプレイ演習Ⅱ**

履修形態： 必修
授業形態： 演習
履修学年： 1年次
開講学期： 後期
授業時数： 30時間
単 位： 2単位

- 科目概要： 設定されたコンセプト、共通テーマを意識して、個人でのデザイン、チームでのデザインと作品制作を行う。
- 到達目標： パースの基本を学ぶ。デザインおこしの経験を、進級制作に繋げる
簡単なパースを描ける。空間装飾の役割を理解し、設定された共通テーマやコンセプトにそってデザインを起案し、空間を生かす作品を制作できる。

■授業計画：

- 第1回 オリエンテーション、導入：パースの基本1
- 第2回 パースの基本2
- 第3回 パースの基本3
- 第4回 模型製作1
- 第5回 模型製作2
- 第6回 模型製作3
- 第7回 フラワーカフェのプレゼンテーション
- 第8回 フラワーカフェ(1SC教室の一角に制作すると仮定)使用花材、他材料を選定。
- 第9回 フラワーカフェ制作
- 第10回 フラワーカフェ 振り返り
- 第11回 卓上アレンジメントのデザインおこし1
- 第12回 卓上アレンジメントのデザインおこし2
- 第13回 進級制作のデザインおこし1
- 第14回 進級制作のデザインおこし2
- 第15回 進級制作のデザインおこし3

■教科書： フラワーデザイナーのためのハンドブック 増補改訂版
アレンジ花図鑑 花屋さんの花材がすべてわかる

■参考書：

■成績評価： 出席状況、取り組み姿勢、提出課題作品の達成度、等を総合的に評価する。

■関連科目：

■履修上の留意点

対象学科： 環境デザイン学科
対象専攻： フラワーデザイン専攻
担当教員： 江尻 陽子 (非常勤講師)
実務経験： 生花店勤務、店内業務全般を担当

科目名： **スペースデザイン演習**

履修形態： 必修
授業形態： 演習
履修学年： 2年次
開講学期： 前期
授業時数： 45時間
単 位： 3単位

■科目概要： コンセプト、共通テーマを意識して、個人でのデザイン、チームでのデザインと作品制作を行う。パースの基本を学ぶ。

■到達目標： 簡単なパースを描ける。空間装飾の役割を理解し、共通テーマやコンセプトにそってデザインを起案し、空間を生かす作品を制作できる。

■授業計画：

- 第1回 オリエンテーション: 空間装飾の役割、バリエーションの紹介
- 第2回 「街の気になる空間装飾」レポートシートを配布し説明、次回までの課題とする。レポート発表後、講評、意見交換、提出
- 第3回 スポーツ大会の会場装飾1: 2チーム(身につけるアイテムの制作チーム、会場装飾物の制作チーム)ごとにデザインを決める。
- 第4回 スポーツ大会の会場装飾2: チームごとに、生花以外の材料から、使用材料を選定する。
- 第5回 スポーツ大会の会場装飾3: チームごとに制作する。
- 第6回 共通テーマにそった壁面装飾のプランニング1: パースの基本を説明。教室前廊下の壁面装飾を考える。個人でデザイン画(パース)を描く。
- 第7回 共通テーマにそった壁面装飾のプランニング2: 前回書いたデザイン画の講評、意見交換。
- 第8回 共通テーマにそった壁面装飾のプランニング3: 全体の共通テーマとデザインを選定し、使用材料を決める。
- 第9回 共通テーマにそった壁面装飾の制作1: 花材の選定とその他材料の準備
- 第10回 共通テーマにそった壁面装飾制作2: 教室前廊下の壁面装飾 制作
- 第11回 ダリア展制作1: ダリア展の概要、日程説明 共通テーマと分担(チーム)を決める
- 第12回 ダリア展制作2: チームごとに担当する場所の写真と位置図を見て、共通テーマにそって、ディスプレイのデザインを考える。
- 第13回 ダリア展制作3: チームごとに担当する場所の使用花材、使用資材を選定する。各チームリーダーで協議し、会場全体のディスプレイを決定する。
- 第14回 ダリア展制作4: ダリア展作品の土台制作1
- 第15回 ダリア展制作5: ダリア展作品の土台制作2

■教科書： フラワーデザイナーのためのハンドブック増補改訂版
アレンジ花図鑑 花屋さんの花材がすべてわかる

■参考書：

■成績評価： 出席状況、取り組み姿勢、提出課題作品の達成度、等を総合的に評価する。

■関連科目：

■履修上の留意点：

対象学科： 環境デザイン学科
対象専攻： フラワーデザイン専攻
担当教員： 柏葉弥生 (非常勤講師)
実務経験： 華道家元池坊師範 准華督

科目名： **いけばな基礎演習**

履修形態： 必修
授業形態： 演習
履修学年： 1年次
開講学期： 前期
授業時数： 45時間
単 位： 3単位

- 科目概要： 日本の伝統文化として伝えられているいけばなの原点である池坊の起源・基礎・応用環境・時代の変化にも対応してきた池坊の四季草木の美しさ、色彩、自然との関りを実技にて表現
- 到達目標： いけばなの基礎を習得すると共に理解を深める、授業終了時まで免許を取得する(入門・初等科)
インターネット花展への応募

■授業計画：

- 第1回 講義：伝統文化としてのいけばな・・・いけばな池坊の発祥を略年表を使って いけばなの由来、日本風土といけばなの出発点
- 第2回 講義：いけばなの原点池坊について：現代のいけばなとフラワーアレンジの違い
実技：教材・道具についての説明、自由花の道具について ハサミ・剣山・器他
- 第3回 講義：池坊の花形、テキストABC：自由花の特質：自由花カリキュラムにて基本形態
実技：自由花：各自の発想で作品制作と作品説明。インターネット花展に向けて
- 第4回 講義：テキストABC：自由花の特質：自由花カリキュラムにて基本形態
実技：自由花：各自の発想で作品制作と作品説明。インターネット花展に向けて
- 第5回 講義：写真撮影。作品制作にあたり、明確な発想とインスピレーションを持つ
実技 自由花：各自の発想で作品制作と作品説明。インターネット花展に向けて
- 第6回 講義：自由花：作品制作にあたり、明確な発想とインスピレーションを持つ
実技：自由花：各自の発想で作品制作と作品説明。インターネット花展に向けて
- 第7回 講義：自由花：植物の美と季節の草木。
実技：自由花：各自の発想で作品制作と作品説明。インターネット花展に向けて
- 第8回 講義：自由花構成に関わる用語の説明。点・線・面・マツ
実技：自由花：各自の発想で作品制作と作品説明。インターネット花展に向けて
- 第9回 講義：実技 自由花：植物の裏表、左右、上中下段。
実技：自由花：各自の発想で作品制作と作品説明。インターネット花展に向けて
- 第10回 講義：実技 自由花：植物の裏表、左右、上中下段。異素材の利用について
実技：異素材を使った自由花：作品制作と作品説明。インターネット花展に向けて
- 第11回 講義：生花(しょうか)に関わる用語
実技 生花正風体 一種生(5本、7本) 本勝手
- 第12回 講義：「花戦」登場人物・歴史背景
実技 生花正風体 一種生(9本)本勝手
- 第13回 池坊映画「花戦」鑑賞
- 第14回 映画「花戦」感想レポートのシェアリング
実技生花 総仕上げ
- 第15回 レポート・アンケート
実技：自由花 総仕上げフリー

■教科書： IKENOBO ABC自由花 編、IKENOBO ABC生花一種生編、生花二種生編、生花三種

■参考書： いけばな略年表、自由花入門カリキュラム1

■成績評価： 出席状況、取り組み姿勢、提出課題作品の達成度、等を総合的に評価する。

■関連科目：

■履修上の留意点

対象学科： 環境デザイン学科
対象専攻： フラワーデザイン専攻
担当教員： 柏葉 弥生 (非常勤講師)
実務経験： 華道家元池坊師範 准華督

科目名： **いけばな演習**

履修形態： 必修
授業形態： 演習
履修学年： 2年次
開講学期： 前期
授業時数： 45時間
単 位： 3単位

- 科目概要： 日本の伝統文化として伝えられているいけばなの原点である池坊の起源・基礎・応用。住環境・時代の変化にも対応してきた池坊の四季草木の美しさ、色彩、自然との関りを実技にて表現
- 到達目標： 授業終了時まで免許取得（中等科）
インターネット花展への応募

■授業計画：

- 第1回 講義：伝統文化いけばなを学ぶ意味。池坊の歴史の復習。いけばなの由来
実技：自由花
- 第2回 講義：作品制作時の、明確な発想をインターネット花展の作品録に反映させる
実技：各自の発想で作品制作と作品説明。インターネット花展に向けて
- 第3回 講義：池坊の花形、テキストABC：自由花の特質：自由花カリキュラムにて応用偏
実技：自由花：各自の発想で作品制作と作品説明。インターネット花展に向けて
- 第4回 講義：テキストABC：自由花の特質：自由花カリキュラムにて応用偏
実技：自由花：各自の発想で作品制作と作品説明。インターネット花展に向けて
- 第5回 講義：テキストABC：自由花の特質：自由花カリキュラムにて応用偏
実技：自由花：各自の発想で作品制作と作品説明。インターネット花展に向けて
- 第6回 講義：テキストABC：自由花の特質：自由花カリキュラムにて応用偏
実技：自由花：各自の発想で作品制作と作品説明。インターネット花展に向けて
- 第7回 講義：テキストABC：自由花の特質：自由花カリキュラムにて応用偏
実技：自由花：各自の発想で作品制作と作品説明。インターネット花展に向けて
- 第8回 講義：テキストABC：自由花の特質：自由花カリキュラムにて応用偏
実技：自由花：各自の発想で作品制作と作品説明。インターネット花展に向けて
- 第9回 講義：テキストABC：自由花の特質：自由花カリキュラムにて応用偏
実技：自由花：各自の発想で作品制作と作品説明。インターネット花展に向けて
- 第10回 講義：季節を意識した花材と花器との構成。異素材の利用について
実技：異素材を使った自由花：各自の発想で作品制作と作品説明。インターネット花展に
- 第11回 講義：生花(しょうか)に関わる用語
実技 生花正風体 一種生(5本、7本) 本勝手
- 第12回 講義：立花について
実技 生花正風体 一種生(9本)本勝手
- 第13回 講義：立花・生花・自由花の特徴まとめ
実技：生花 総仕上げ
- 第14回 講義：季節を意識した花材と花器との構成。異素材の利用について
実技：異素材を使った自由花：各自の発想で作品制作と作品説明。インターネット花展に
- 第15回 レポート・アンケート
実技：自由花 総仕上げフリー

■教科書： IKENOBO ABC自由花 編、
IKENOBO ABC生花一種生編、生花二種生編、生花三種生編

■参考書： いけばな略年表、自由花入門カリキュラム1, 2

■成績評価： 出席状況、取り組み姿勢、提出課題作品の達成度、等を総合的に評価する。

■関連科目：

■履修上の留意点：

対象学科： 環境デザイン学科
対象専攻： フラワーデザイン専攻
担当教員： 中村 晃 (非常勤講師)
実務経験： 生花店店舗業務全般経験後、ゼネラルマネージャーとして勤務。札幌カップ
ゴールド賞、デザイナーズウィークアレンジコンテスト優勝など

科目名： **クリエイティブワークⅠ**

履修形態： 必修
授業形態： 演習
履修学年： 1年次
開講学期： 後期
授業時数： 30時間
単 位： 2単位

■科目概要： 花の植生の基本知識を身につけさせ、素材を生かすデザインを学ばせる

■到達目標： 花の植生の基本知識をもとに素材を生かすデザインを生み出す姿勢を身につける

■授業計画：

- 第1回 ギフト:基本(アレンジ)
- 第2回 ギフト:基本(花束)
- 第3回 ギフト:開店(アレンジ)
- 第4回 ギフト:フューネラル(アレンジ)
- 第5回 ギフト:花束色々なデザイン
- 第6回 ギフト:花束色々なデザイン
- 第7回 生け込み:投げ入れ
- 第8回 生け込み:投げ入れ2
- 第9回 ディスプレイ1:アートフラワー(オブジェ)
- 第10回 ディスプレイ2:アートフラワー(オブジェ)
- 第11回 レッスン:フリーデザイン(アレンジ)
- 第12回 レッスン:フリーデザイン(ディスプレイ)
- 第13回 レッスン:フリーデザイン(ブーケ)
- 第14回 コンテスト アキラカップ
- 第15回 コンテスト アキラカップ2

■教科書： 自作プリント・資料

■参考書：

■成績評価： 出席状況、取り組み姿勢、提出課題作品の達成度、等を総合的に評価する。

■関連科目：

■履修上の留意点

対象学科： 環境デザイン学科
対象専攻： フラワーデザイン専攻
担当教員： 中村 晃 (非常勤講師)
実務経験： 生花店店舗業務全般経験後、ゼネラルマネージャーとして勤務。札幌カップ
ゴールド賞、デザイナーズウィークアレンジコンテスト優勝など

科目名： **クリエイティブワークⅡ**

履修形態： 必修
授業形態： 演習
履修学年： 2年次
開講学期： 前期
授業時数： 45時間
単 位： 3単位

■科目概要： 花の植生の基本知識を身につけさせ、素材を生かすデザインを学ばせる。常にトレンドのデザインを意識し、実践する。

■到達目標： 花の植生の基本知識をもとに素材を生かすデザインを生み出す姿勢を身につける。トレンドのデザインを知り、常にアンテナを張る姿勢を養う。

■授業計画：

- 第1回 ギフト:花束とBOXフラワー(花束アレンジ)
- 第2回 ギフト:スタイリッシュアレンジ(アレンジ)
- 第3回 ギフト:カーネーションを使ったデザイン(母の日)
- 第4回 ギフト:枝のアレンジ(アレンジ)
- 第5回 ギフト:バラのデザイン
- 第6回 いけばな:シャクヤクの立ち姿
- 第7回 花の仕事:自分で選ぶ花材1(アレンジ)
- 第8回 花の仕事:ウェディングゲストテーブル(アレンジ)
- 第9回 花の仕事:ウェディングブーケ(花束)
- 第10回 ギフト:花束ラッピング(花束)
- 第11回 ギフト:葉物ラッピング(花束)
- 第12回 花の仕事:花色レッスン(アレンジ)
- 第13回 ギフト:シンプルデザイン(アレンジ)
- 第14回 花の仕事:自分で選ぶ花材2(アレンジ)
- 第15回 花の仕事:ディスプレイ投げ入れ(アレンジ)

■教科書： 自作プリント・資料

■参考書：

■成績評価： 出席状況、取り組み姿勢、提出課題作品の達成度、等を総合的に評価する。

■関連科目：

■履修上の留意点：

対象学科： 環境デザイン学科
対象専攻： フラワーデザイン専攻
担当教員： 孫田 敏 (非常勤講師)
実務経験： 林業や造園緑化会社、建設コンサルタント会社を経て起業、代表取締役。

科目名： **植物学**

履修形態： 必修
授業形態： 講義＋演習
履修学年： 1年次
開講学期： 前期
授業時数： 45時間
単 位： 3単位

- 科目概要： 植物に関する諸知識を、より実践に結びつけるため、育つ環境との関わりや植物の根の成長に必要な土壌や菌との関わり、具体的に植物が育てられる過程、植物の形はどうやって決まるか、さらに植物の名前はどうか名付けられてきたか、植物と文化、作品の表現等を知る。
- 到達目標： 植物が「生き物」であることを理解するとともに、植物を多様な視点から見つめ、取り扱う上での基礎知識を身につける。

■授業計画：

- 第1回 植物とは何か？〔生物・植物に関する定義の議論〕
- 第2回 植物はなぜ枯れるか？〔鉢植え・戸外の植物の生育不良観察〕
- 第3回 植物の形〔葉・茎・花などの植物器官の観察/矮性ヒマワリ栽培準備〕
- 第4回 植物の細部を見つめる(1)〔季節の植物の花などの観察と記録〕
- 第5回 植物の細部を見つめる(2)〔季節の植物の花などの観察と記録〕
- 第6回 さっぽろの植物について知る〔北大植物園見学〕
- 第7回 植物の分類〔似たもの同士を探す〕〔矮性ヒマワリの観察〕
- 第8回 植物の構造と働き(1)…根と茎〔矮性ヒマワリの観察〕
- 第9回 公園と植物〔大通公園花フェスタ見学〕
- 第10回 植物の構造と働き(2)…葉と花〔矮性ヒマワリの観察〕
- 第11回 植物が育つ基盤を知る〔土壌標本の触診と根系の観察〕
- 第12回 植物の名前〔レポートの書き方と課題〕
- 第13回 ヒトは花とどうつきあってきたか〔人間の文化と植物について調べスケッチ〕
- 第14回 植物が育てられる過程を知る〔苗畑見学〕
- 第15回 植物の一生〔果実と種子の観察〕

■教科書： パワーポイント・プリント(自製)・資料

■参考書：

■成績評価： 出席状況、取り組み姿勢、提出課題作品の達成度、等を総合的に評価する。

■関連科目：

■履修上の留意点：

対象学科： 環境デザイン学科
対象専攻： フラワーデザイン専攻
担当教員： 中嶋 ゆうき (非常勤講師)
実務経験： 生花小売・生花業、ブライダルフラワー業マネージャー

科目名： **ブライダルフラワー**

履修形態： 必修
授業形態： 演習
履修学年： 2年次
開講学期： 前期
授業時数： 45時間
単 位： 3単位

■科目概要： 結婚式における花の基本知識を身につけさせ、必要なデザインを学ぶ。流行りのデザインを知り、実践する。

■到達目標： 結婚式における花の基本知識をもとに必要な商品を生み出す姿勢を身につける。トレンドを意識しデザインする能力を養う。

■授業計画：

- 第1回 ブライダルフラワーとは
今年のトレンド
- 第2回 トレンドアイテム制作 ドライ、造花使用
- 第3回 トレンドアイテム制作 ドライ、造花使用
- 第4回 トレンドアイテム制作 ドライ、造花使用
- 第5回 新郎新婦へ商品提案 イメージ資料作成
- 第6回 前回をもとに商品制作(生花)
終了後プレゼンテーション
- 第7回 トレンドアイテム制作 ドライ、造花使用
- 第8回 トレンドアイテム制作 ドライ、造花使用
- 第9回 トレンドアイテム制作 ドライ、造花使用
- 第10回 会場装飾について
- 第11回 店舗業務における基本知識
- 第12回 ウェディングフラワーアレンジメントの提案グループワーク①
- 第13回 ウェディングフラワーアレンジメントの提案グループワーク②
- 第14回 ウェディングフラワーアレンジメントの提案グループワーク③
- 第15回 ウェディングフラワーアレンジメントの提案グループワーク④

■教科書： 自作プリント・資料など

■参考書：

■成績評価： 出席状況、取り組み姿勢、提出課題作品の達成度、等を総合的に評価する。

■関連科目：

■履修上の留意点：

対象学科： 環境デザイン学科
対象専攻： フラワーデザイン専攻
担当教員： 大堀 幸俊 (非常勤講師)
実務経験： 大堀生花店代表。フラワー装飾技能士熟練技能者。

科目名： **フラワービジネス**

履修形態： 必修
授業形態： 演習
履修学年： 2年次
開講学期： 前期
授業時数： 45時間
単 位： 3単位

■科目概要： 生花業界の仕組み、あり方、生花の流通、フローリストとしての心構え、生花店の仕事など、全般的に学ぶ。

■到達目標： フローリストとして必要なフラワービジネスの知識を身につけている。

■授業計画：

- 第1回 生花業界について: 生花業界について、関連組織について
- 第2回 生産と流通: 生産、流通、販売について花の扱い方、手入れ、分類、種類、性質について
- 第3回 生産と流通: 生産と流通、販売について
- 第4回 生産と流通: 生産と流通、販売について 花屋の分類
- 第5回 生産と流通: 花屋の分類と仕事
- 第6回 人材としての心構え1: フローリストとしての考え方と心構え
- 第7回 生花店の仕事について: 生花店の仕事について 常識とは、接客について、電話対応について
- 第8回 生花店の仕事について: 生花店の仕事について 常識とは、接客について、電話対応について
- 第9回 商品と作品の違い: 商品と作品の違い、花の扱い方
- 第10回 商品と作品の違い: 商品と作品の違い、花の扱い方
- 第11回 フラワーデザインの知識・安全について: フラワーデザインの知識・安全についての確認1
- 第12回 フラワーデザインの知識・安全について: フラワーデザインの知識・安全についての確認2
- 第13回 スタンド装花の制作: 葬儀スタンド制作
- 第14回 市場見学: 市場見学、市場内容説明会
- 第15回 市場見学振り返り: 市場見学のレポート作成

■教科書： 自作プリント

■参考書：

■成績評価： 出席状況、取り組み姿勢、提出課題作品の達成度、等を総合的に評価する。

■関連科目：

■履修上の留意点：

対象学科： 環境デザイン学科
対象専攻： フラワーデザイン専攻
担当教員： 小泉 笑美子 (非常勤講師)
実務経験： 結婚式場アシスタント経験後フリーアナウンサーとして活動、その後(株)エデュースを設立、代表取締役

科目名： **キャリアプランニング**

履修形態： 必修
授業形態： 講義＋演習
履修学年： 1年次
開講学期： 前期
授業時数： 15時間
単 位： 1単位

■科目概要： ワークシートで接遇の基本を学び、ペアワークやグループワークを取り入れ知識にとどめず行動に表し、気づきを見出す。

■到達目標： コミュニケーション&マナーを位につけて、社会の第一線で活躍できる能力を身につける

■授業計画：

- 第1回 人の心を動かす声と言葉で挨拶：ノンバーバルコミュニケーションの確認(表情・態度・立ち振る舞い・言葉遣い)
- 第2回 声を作る(発音・滑舌チェック)・映像で自己チェック
- 第3回 心技体を表現：第一印象と初頭効果・接客用語で挨拶
- 第4回 お辞儀の大切さ・笑顔トレーニング
- 第5回 身だしなみ
- 第6回 ビジネスマナー：お客様対応を考える
- 第7回 言葉遣いと敬語・来客対応(ご案内・席次～お見送りまで)
- 第8回 物の指し示しと物の授受
- 第9回 顧客満足とプロのサービス：接客プロセスを学ぶ・サービスに必要な「S」
- 第10回 トラブル対応の基本・話し方と聞き方・傾聴
- 第11回 電話対応のマナー：電話の受け方と掛け方の基本(取次から不在時まで)
- 第12回 電話対応ロールプレイング(録音とフィードバック)
- 第13回 企業が求める人材とは
- 第14回 コミュニケーション能力と葉(企業は何を、どこを見るのか)
- 第15回 面接時のポイント・面接ロールプレイング

■教科書： 内容に沿ってワークシート使用

■参考書：

■成績評価： 出席状況、取り組み姿勢、提出課題作品の達成度、等を総合的に評価する。

■関連科目：

■履修上の留意点

対象学科： 環境デザイン学科
対象専攻： フラワーデザイン専攻
担当教員： 熊 友香 (非常勤講師)
実務経験： JWC 販促ラッピング検定委員。JWC フラワーラッピングコーディネーター。

科目名： **販売実務**

履修形態： 必修
授業形態： 演習
履修学年： 1年次
開講学期： 後期
授業時数： 30時間
単 位： 2単位

- 科目概要： ●実践に役立つラッピングやリボンワークの修得、様々な状況においてのフラワープランやコーディネート全般の知識と技術を学ぶ●フラワーラッピングコーディネーター検定取得を目指す
- 到達目標： ①フラワーラッピングの基本を理解し、習得する ②フラワーラッピングコーディネーター検定の取得

■授業計画：

- 第1回 フラワーラッピング①
第2回 フラワーラッピング②
第3回 フラワーラッピング③
第4回 フラワーラッピング④
第5回 フラワーラッピング⑤
第6回 フラワーラッピング⑥
第7回 フラワーラッピング⑦
第8回 フラワーラッピング⑧ フラワーラッピングコーディネーター検定模擬試験
第9回 フラワーラッピングコーディネーター検定
第10回 店内販促POPについて
第11回 ギフトデザイン①
第12回 ギフトデザイン②
第13回 ギフトデザイン③
第14回 ギフトデザイン④
第15回 ギフトデザイン⑤

■教科書： 自作プリント・資料

■参考書：

■成績評価： 出席状況、取り組み姿勢、提出課題作品の達成度、等を総合的に評価する。

■関連科目：

■履修上の留意点

対象学科： 環境デザイン学科
対象専攻： フラワーデザイン専攻
担当教員： 山間 香綾 (専任教員)
実務経験： 店舗接客業、オーダーデザイン業務のアートディレクションからデザイン制作、DTP作成等を担当。

科目名： **DTP基礎演習**

履修形態： 必修
授業形態： 演習
履修学年： 1年次
開講学期： 前期
授業時数： 45時間
単 位： 3単位

■科目概要： ●PCの基本操作、illustrator、Photoshopの基本操作を習得する。
●将来的に、プレゼンテーションボードやチラシのデザインをできる技能の習得を目指す。

■到達目標： ①Adbe illustrator/Photoshopの基礎操作を習得する。
②コンセプトを立て、文字、図や画像などの情報を的確にデザインし表現する。③簡潔に分かりやすいイメージを作成する能力の向上

■授業計画：

- 第1回 DTPとは、その効果と重要性。
- 第2回 illustrator、Photoshopの違い。操作方法説明
- 第3回 illustrator、Photoshop問題集①
- 第4回 illustrator、Photoshop問題集②
- 第5回 デジタルコラージュ①
- 第6回 デジタルコラージュ②
- 第7回 デジタルコラージュ③
- 第8回 デジタルコラージュ④
- 第9回 自分のロゴマークを作る①
- 第10回 自分のロゴマークを作る②
- 第11回 自分のロゴマークを作る③
- 第12回 自分のロゴマークを作る④
- 第13回 ポストカードのデザイン①
- 第14回 ポストカードのデザイン②
- 第15回 ポストカードのデザイン③

■教科書： プロジェクターの投影中心、世界一わかりやすいillustrator、&Photoshop

■参考書：

■成績評価： 出席状況、取り組み姿勢、提出課題作品の達成度、等を総合的に評価する。

■関連科目：

■履修上の留意点

対象学科： 環境デザイン学科
対象専攻： フラワーデザイン専攻
担当教員： 山間 香綾 (専任教員)
実務経験： 店舗接客業、オーダーデザイン業務のアートディレクションからデザイン制作、DTP作成等を担当。

科目名： **DTP演習**

履修形態： 必修
授業形態： 演習
履修学年： 1年次
開講学期： 後期
授業時数： 30時間
単 位： 2単位

■科目概要： 文字の扱いとバランス、レイアウトが持つ意味を理解させ、意図を感じるものづくりの意識の定着を図る。魅力的なポートフォリオとは何か。

■到達目標： ①伝えるべき情報の優先順位を的確にとらえ、自由な発想でデザインを制作することができる。②文字組など細部にまで気を使えるようになる③illustrator、Photoshopの実務レベルの実力を目指す

■授業計画：

- 第1回 魅力的なポートフォリオを考える
- 第2回 好きなフローリスト、アーティストの紹介ボード①
- 第3回 好きなフローリスト、アーティストの紹介ボード②
- 第4回 好きなフローリスト、アーティストの紹介ボード③
- 第5回 好きなフローリスト、アーティストの紹介ボード④ 発表
- 第6回 フライヤーのデザイン①
- 第7回 フライヤーのデザイン②
- 第8回 フライヤーのデザイン③
- 第9回 フライヤーのデザイン④
- 第10回 ポスターの作成①
- 第11回 ポスターの作成②
- 第12回 ポスターの作成③
- 第13回 ポスターの作成④ 発表
- 第14回 illustrator、Photoshop検定問題⑤
- 第15回 illustrator、Photoshop検定問題⑥

■教科書： プロジェクターの投影中心、世界一わかりやすいillustrator、&Photoshop

■参考書：

■成績評価： 出席状況、取り組み姿勢、提出課題作品の達成度、等を総合的に評価する。

■関連科目：

■履修上の留意点

対象学科： 環境デザイン学科
対象専攻： フラワーデザイン専攻
担当教員： 芳賀香緒里 (専任教員)
実務経験： 生花店勤務、店内業務全般を担当

科目名： **プレゼンテーションⅠ**

履修形態： 必修
授業形態： 演習
履修学年： 2年次
開講学期： 前期
授業時数： 45時間
単 位： 3単位

- 科目概要： ●デザインとは何か、コンセプトとは何か。
●illustratorとPhotoshopの基本操作の指導と撮影によるデザイン制作の実践。 ●文字の扱いとバランス、レイアウトが持つ意味を理解させ、意図を感じるものづくりの意識の定着。
●提出の際にはプレゼンを行い、考え方を相手にしっかりと伝わるよう訓練する。
- 到達目標： ①伝えるべき情報の優先順位を的確にとらえ、自由な発想でデザインを作ることが出来る。
②文字組など細部にまで気を使えるようになる。現場で役立つ基本スキルを身につける。 ③プレゼンに慣れ、伝わりやすい話し方を考えられるようになる。

■授業計画：

- 第1回 DTPとは、その効果と重要性
第2回 分かりやすいプレゼンとは
第3回 魅力的なポートフォリオを考える
第4回 ポートフォリオ作成
第5回 花POP制作①
第6回 花POP制作②
第7回 花POP制作③
第8回 花屋フライヤー作成①
第9回 花屋フライヤー作成②
第10回 花屋フライヤー作成③
第11回 花屋フライヤー作成④
第12回 グループワーク： プレゼンテーション①
第13回 グループワーク： プレゼンテーション②
第14回 グループディスカッション①
第15回 グループディスカッション②

■教科書： 自作プリント・資料

■参考書：

■成績評価： 出席状況、取り組み姿勢、提出課題作品の達成度、等を総合的に評価する。

■関連科目：

■履修上の留意点：

対象学科： 環境デザイン学科
対象専攻： フラワーデザイン専攻
担当教員： 芳賀香緒里 山間香綾 (専任教員)
実務経験： 生花店勤務、店内業務全般を担当

科目名： **プレゼンテーションⅡ**

履修形態： 必修
授業形態： 演習
履修学年： 2年次
開講学期： 後期
授業時数： 45時間
単 位： 3単位

- 科目概要： ●illustrator、Photoshopを用いてプレゼンテーションボードの作成をする。●PowerPointを用いて作品の効果的なプレゼンを考える
- 到達目標： ①卒業制作を引き立て、より完成度を高める効果のあるボードを作成する。
②PowerPointによるプレゼンテーションを身につける

■授業計画：

- 第1回 プレゼンボードの役割とデザイン
- 第2回 販売イベントのプレゼンテーション①
- 第3回 販売イベントのプレゼンテーション②
- 第4回 販売イベントのプレゼンテーション③
- 第5回 販売イベントのプレゼンテーション④
- 第6回 ラフスケッチやデザインを効果的に使う方法
- 第7回 デザインコンセプトにあったプレゼンボードの作成①
- 第8回 デザインコンセプトにあったプレゼンボードの作成②
- 第9回 デザインコンセプトにあったプレゼンボードの作成③
- 第10回 デザインコンセプトにあったプレゼンボードの作成④
- 第11回 プレゼン用資料作成①
- 第12回 プレゼン用資料作成②
- 第13回 プレゼン用資料作成③
- 第14回 発表用原稿、資料作成
- 第15回 プレゼン発表練習、講評

■教科書： 自作プリント・資料

■参考書：

■成績評価： 出席状況、取り組み姿勢、提出課題作品の達成度、等を総合的に評価する。

■関連科目：

■履修上の留意点：

対象学科： 環境デザイン学科
対象専攻： フラワーデザイン専攻
担当教員： 山間 香綾 (専任教員)
実務経験： 店舗接客業、オーダーデザイン業務のアートディレクションからデザイン制作、DTP作成等を担当。

科目名： **デザイン基礎Ⅱ**

履修形態： 必修
授業形態： 演習
履修学年： 1年次
開講学期： 後期
授業時数： 30時間
単 位： 2単位

- 科目概要： ●illustrator、Photoshopの基本操作を復習し、応用技術を学ぶ ●花の画像を用いたデジタルコラージュ作品を制作する。●コンペ出展作品を制作する。
- 到達目標： ①illustrator、Photoshopの操作に慣れ、応用できるようになる。 ②デジタル画としてのフラワーデザインの感覚を養う ③コンペへの作品制作によってコンセプトメイクを大切にする姿勢を養う

■授業計画：

- 第1回 基本操作の復習、デジタルコラージュの鑑賞
- 第2回 素材研究:ダンボールアート①
- 第3回 素材研究:ダンボールアート②
- 第4回 素材研究:ダンボールアート③
- 第5回 素材研究:ダンボールアート④
- 第6回 素材研究:ワイヤーアート①
- 第7回 素材研究:ワイヤーアート②
- 第8回 素材研究:ワイヤーアート③
- 第9回 素材研究:ワイヤーアート①
- 第10回 花のデフォルメイラスト①
- 第11回 花のデフォルメイラスト②
- 第12回 花のデフォルメイラスト③
- 第13回 ポストカードデザイン①
- 第14回 ポストカードデザイン②
- 第15回 ポストカードデザイン③

■教科書： 自作プリント・資料

■参考書：

■成績評価： 出席状況、取り組み姿勢、提出課題作品の達成度、等を総合的に評価する。

■関連科目：

■履修上の留意点

対象学科： 環境デザイン学科
対象専攻： フラワーデザイン専攻
担当教員： 宮崎昭人 (非常勤講師)
実務経験： Just English Press Ltd.代表取締役。翻訳業務（観光・ビジネス・科学・法務分野等）、海外とのやり取り代行、外国語コンテンツ制作、企業向け英会話講座

科目名： 英語

履修形態： 必修
授業形態： 講義
履修学年： 1年次
開講学期： 前期
授業時数： 15時間
単 位： 1単位

■科目概要： 義務教育で習った英語の基本を再確認し、芸術分野、デザイン分野の職業の中で、英語を使用する場面に必要な英語力を習得する。

■到達目標： 英語力の自信を深め、自力でも能力を高めることができるようになるとともに、交換留学生などと積極的に異文化交流ができるような教養を育む

■授業計画：

- 第1回 はじめに：仕事のシーンで間違った英語を使ってしまう感覚を磨く
- 第2回 身の回りの英語：会社名、ブランド名、商品名に使われている英語の意味
- 第3回 英会話基礎：日本語の中の外来語の多さを理解し、英会話の基礎を学ぶ
- 第4回 品詞の理解：辞書の使い方
- 第5回 品詞別重要ポイント①：名詞、冠詞、代名詞の正しい使い方
- 第6回 スペルミス防止：作品のタイトル、チラシ、ポスター、看板等に見られる誤表記事例
- 第7回 品詞別重要ポイント②：動詞（be動詞、一般動詞）、助動詞の使い方
- 第8回 スペルミス防止：作品のタイトル、チラシ、ポスター、看板等に見られる誤表記事例
- 第9回 品詞別重要ポイント④：接続詞、形容詞、副詞、前置詞、接続詞の使い方
- 第10回 翻訳：翻訳の種類（直訳、意訳、超訳とはどのようなものかを理解する）
- 第11回 翻訳：自動的に翻訳される機械翻訳の問題点を理解し、使い方のコツを習得
- 第12回 自己紹介
- 第13回 口語英語表現、英語を必要とする様々なシーン
- 第14回 日常で使用する英語：住所表記、入国カード、日本食の英語表現
- 第15回 まとめ

■教科書： プリント配布

■参考書： 辞書があれば望ましい

■成績評価： 出席状況、取り組み姿勢、提出課題作品の達成度等を総合的に評価する。

■関連科目：

■履修上の留意点：